

福島県防災会議原子力防災部会（書面開催）結果

N o	委員名	意見	事務局対応
1	<p>公益財団法人原子力安全研究協会 研究参与 片桐 裕実</p>	<p>昨年度の訓練視察報告書でも記しましたが、保健福祉医療調整本部活動が危機管理センターでの活動から独立しているように感じます。必ずしも地域防災計画に明記する必要は無いかとは思いますが、国（オフサイトセンター）との連携等を考えると、危機管理センター内での活動が独立したものとならないような取り組みが必要と考えます。</p>	<p>本計画においては、災害対策本部事務局の避難支援班の事務として、「保健医療福祉調整本部との情報共有」について記載しております。</p> <p>また、地域防災計画（一般災害対策編）において、保健福祉部保健福祉班の事務として「災害対策本部事務局への保健医療福祉調整本部職員の派遣」に関する定めがあることから、原子力災害対策編においても同様に記載いたします。</p> <p>なお、防災訓練において班長会議を通じて災害対策本部事務局との情報共有を図るなど、効果的な連携体制となるよう取組を進めてまいります。</p>
2	<p>量子科学技術研究開発機構 放射線医学研究所 福島再生支援室長</p>	<p>p 2－3 のところで誤植がありますのでご注意ください。 （１）福島県（教育長、警察本部を除く）→（１）福島県（教育庁、警察本部を除く） （２）福島県教育長→（２）福島県教育庁。</p>	<p>御意見のとおり修正いたします。</p>
3	<p>中島 徹夫</p>	<p>よりきめ細かい計画となるようですが、分掌事務など現場の方には適宜、また訓練時などでも再確認の機会を作るようにしていただければと思います。</p>	<p>災害対策本部事務局の事務分掌等については、各種研修や訓練の事前学習等において本部事務局指定職員に周知を図っているところであり、引き続き取り組んでまいります。</p>

No	委員名	意見	事務局対応
4	福島県災害対策課長 工藤 宇裕	<p>新旧対照表 20/69)</p> <p>居住市町村外への避難等、原子力災害における課題を整理し、対応を検討する必要があるため、「県は、平常時から、被災者支援の仕組みを担当する部局を明確化し、地域の実情に応じ、災害ケースマネジメント（中略）などの被災者支援の仕組みの整備等に努めるものとする。」について、追加した部分を削除し、現行のままとしていただきたい。</p> <p>併せて、修正の概要についても修正いただきたい。</p>	<p>御意見のとおり、追加した部分を削除し、現行のとおりといたします。</p> <p>なお、原子力災害における災害ケースマネジメントの実施にあたり、自然災害とは異なる原子力災害特有の課題について整理、検討を進めてまいります。</p>